

琉球銀行の地域貢献についての考え方

琉球銀行は、地方銀行の基本的な使命は、「地域の金融インフラを支える存在として、円滑な資金供給と金融サービスを提供することにある」と認識し、本業である銀行業務を通じた地域貢献こそが、地方銀行本来のあり方と考えています。こうした基本理念に基づき、琉球銀行では県民からお預かりした預金の大部分を県内の中小企業・個人の皆様に供給し、県経済・社会の発展に貢献しています。

同時に、地方銀行には、地域社会に根ざした良き企業市民として社会的責任を果たすことが求められており、琉球銀行は芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

琉球銀行は、バランスの取れた地域貢献活動により、地域とともに持続的な発展を目指します。

地域密着型金融推進計画の進捗状況

全体的な進捗状況（平成16年4月～平成18年3月）

「地域密着型金融推進計画」で掲げる三つの大項目については、それぞれについて、概ね計画通りの進捗となりました。

「事業再生・中小企業金融の円滑化」では、重点項目として掲げた「取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化」、「事業再生に向けた積極的取り組み」、「担保・保証に過度に依存しない融資の推進」などで具体的な成果が上がりました。

「経営力の強化」では、「収益管理態勢の整備と収益力の向上」、「ITの戦略的活用」に重点的に取り組み、特に収益管理態勢については、システムのインフラの構築が完了しました。

「地域の利用者の利便性向上」では、「地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立」に積極的に取り組み、新しい営業チャネルの拡充を図りました。

事業再生・中小企業金融の円滑化

「取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化」については、コンサルティング業務やM&A等のソリューション機能の提供を目的に、平成17年6月に企業支援部に金融サービス室を新設しました。さらに平成17年12月には、「みずほ総合研究所」との業務提携により、さらに付加価値の高いコンサルティング機能を提供することが可能となりました。

「事業再生に向けた積極的取り組み」については、早期事業再生への取り組み強化を目的に、平成18年3月、県内4金融機関と中小企業基盤整備機構等との共同出資で「おきなわ中小企業再生ファンド」を設立しました。

「担保・保証に過度に依存しない融資の推進」については、無担保・第三者保証人不要の事業者向け商品「ベストサポーター」、「順風満帆」の融資限度額を引き上げたことなどから、取り扱いが増加しました。

経営力の強化

「収益管理態勢の整備と収益力の向上」については、平成18年3月に融資支援システムおよび収益管理システムの導入が完了しました。

「ITの戦略的活用」については、平成18年1月に、個人・法人向けインターネットバンキングの機能を拡張し、顧客の利便性向上に努めました。

地域の利用者の利便性向上

「地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立」については、平成17年7月に、本店営業部に税金や公共料金支払専用の「クイック窓口」を新設し、お客様の待ち時間短縮を図りました。また、北部地区の住宅ローンおよび事業性融資等のご相談等にお応えするために、平成17年10月に「りゅうぎんローンプラザ北部店」を開店しました。

今後の主な取り組み事項

「事業再生・中小企業金融の円滑化」については、「おきなわ中小企業再生ファンド」の活用を本格化させ、中小企業の再生を支援することで、地域経済の活性化を促進します。

「経営力の強化」については、平成19年3月導入の新自己資本比率規制対応に向け、信用リスク計測手法の高度化にに取り組むとともに、統合リスク管理態勢の構築、強化に努めます。

「地域の利用者の利便性向上」については、平成18年2月に実施した利用者満足度調査の結果を踏まえ、地域のお客様のニーズを平成18年度の経営施策に適切に反映させていきます。

経営改善支援の取り組み実績

平成17年度 [平成17年4月～平成18年3月]

単位:先数

		期初債務者数	経営改善支援取り組み先	期末に債務者区分が上昇した先数
正常先		8,734	126	
要注意先	うちその他要注意先	1,062	255	14
	うち要管理先	88	32	6
破綻懸念先		179	23	1
実質破綻先		421	0	0
破綻先		94	0	0
合計		10,578	436	21

■債務者区分の定義

正常先：業況良好で財務内容にも特段の問題がないと認められる先

要注意先：今後の管理に注意を要する先

要管理先：要注意先のうち3カ月以上の延滞または貸出条件を緩和しており今後の管理に注意を要する先

破綻懸念先：今後経営破綻に陥る可能性が高いと判断される先

実質破綻先：法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている先

破綻先：法的・形式的な経営破綻の事実が発生している先